

母子手帳アプリ『母子モ』が福島県小野町で提供を開始！ ～デジタルの力で、子育て世帯にやさしい環境づくりを支援～

母子モ株式会社が運営する母子手帳アプリ『母子モ』が福島県田村郡小野町にて本導入され、『子育て応援アプリおののび』として2月17日(月)より提供を開始しています。

小野町では、町の将来像として掲げた「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を実現するため、子育て支援の視点では、結婚から妊娠・出産・子育てに至る切れ目のない支援を推進しています。

今回、紙の母子健康手帳のデータをデジタルデータとして記録でき、680以上の自治体で導入されている『母子モ』が採用され、こども家庭庁が目指す、令和8年度からの電子版母子健康手帳の原則化※1に先駆けて運用を開始します。『母子モ』は、予防接種のスケジュールや健診結果の管理、地域の情報配信などをスマートフォンやタブレット端末、PCにて簡単にサポートするアプリです。データはクラウド上に保存されているため、災害などによる母子健康手帳紛失時のバックアップになるほか、他市区町村への転居時や機種変更時の継続利用にも対応しており、安心して使い続けることができます。

◆あらゆる形で子育て世帯を経済的に応援する福島県小野町で『母子モ』の提供を開始！

小野町では、妊娠4カ月から出産翌月末までの妊産婦が支払った医療費の自己負担分を一部助成する「すこやか出産妊産婦医療費助成事業」、妊産婦健康診査等にかかる交通費や出産時の宿泊費の一部を支援する「妊婦にやさしい移動支援事業」、さらに令和7年度からは、妊婦の口腔診査と保健指導に係る費用をサポートする「妊婦歯科健康診査事業」を実施し、妊産婦にやさしいまちづくりを進めています。

ほかにも、子どもの誕生を祝い、出生時に10万円を支給する「笑顔とがんばり子育て応援金」や、福島県内の間伐材を使用した木製品のプレゼント、「はじめましての絵本セット」として絵本2冊とバッグの贈呈を行っています。また、満1歳から満6歳までの子ども1人あたり毎年20,000円の「小野町育児世帯支援給付金」や、小中学校または特別支援学校に入学予定の子ども1人あたり30,000円の「小中学校入学祝金」を支給するなど、長期にわたって子育て世帯の経済的な負担を軽減する制度を整えています。

今回、町の取り組みを子育て世帯にもっと便利に活用してもらうために、子育て情報発信の新たなツールとして、『母子モ』が採用されました。

◆地域密着型の子育てアプリで妊娠・出産・育児をしっかりサポート！

福島県小野町に採用された『子育て応援アプリおののび』は、スマートフォン・タブレット端末・PCに対応したサービスで、妊産婦と子どもの健康データの記録・管理や予防接種のスケジュール管理、出産・育児に関するアドバイスの提供、離れた地域に住む祖父母など家族との共有機能や、町が配信する地域の情報をお知らせするなど、育児や仕事に忙しい母親や父親を助けてくれる便利な機能が充実しています。

育児日記として使用できる「できたよ記念日」は、こども家庭庁の母子健康手帳様式例などを元に作成し、母子健康手帳の「保護者の記録」を含む発達段階や子育てにかかわる記念日を写真やメッセージと共に記録できるだけでなく、子どもの成長・発達の目安としての役割も備えています。

また、感染症などの影響により社会的に環境変化が起こった際にも、アプリを通じて自治体からの注意情報や保健師からのアドバイスといった大切な情報をテキストや動画で必要な人に即時に届けることができるなど、非常時においても安心して出産・子育てができる環境づくりをサポートします。

<福島県小野町 村上 昭正町長からのコメント>



この度、小野町の子育て世帯へ向けた母子手帳アプリ『子育て応援アプリおののび』を導入いたしました。これにより、妊産婦の方々へ切れ目のない支援が行えるよう、妊娠期から子育て期に関する町の情報について発信していきたいと考えております。

アプリの名前となっている「おののび」は、“小野町の子どもたち”が“のびのび”と成長していく姿を記録に残せるように、また“小野町の子育て世帯”が“のびのび”と子育てが行えるように、という思いを込めて命名しました。気軽に情報が知れ、楽しみながら子どもの成長を記録できるツールとなっていますので、皆さんにぜひ活用していただきたいと思います。



<『子育て応援アプリおののび』の主な機能>

【自治体から提供される各種制度・サービスの案内】

- 子ども医療費助成制度・児童手当など、妊娠・育児時期にあった各種補助制度の情報や手続き方法の案内
- 自治体が配信する各種お知らせ

【記録・管理】

- 妊娠中の体調・体重記録(グラフ化)
- 胎児や子どもの成長記録(グラフ化)
- 身長体重曲線による肥満・やせの程度の確認(グラフ化)
- 予防接種：標準接種日の自動表示、接種予定・実績管理、受け忘れ防止アラート
- 健診情報：妊婦や子どもの健康診断データを記録

【情報提供・アドバイス】

- 出産・育児に関する基礎情報
- 妊娠週数や子どもの月齢に合わせた知識やアドバイス
- 沐浴や離乳食の作り方などの動画
- 周辺施設の案内(病院、幼稚園・保育園、公園、子育て施設など)

【育児日記:できたよ記念日】

- 子どもの成長を、写真と一緒に記録
- 記念日には日付と言葉が入った“初めての記念日テンプレート”で写真をアップ(初めての…胎動/キック/寝がえり/おすわり/ハイハイ/ひとり立ち/ひとり歩き など約 150 項目の記録が可能)



【データ共有】

- 子どもの成長記録や健康データを、家族のスマートフォンなどでも閲覧でき、SNS にも投稿可能

当社は、2030 年までに、妊娠から子育て期の手続きについて、必要な人に情報を届け、保護者、自治体、医療機関の手間を無くすことをビジョンとして掲げています。子育て関連事業のデジタル化を支援するサービス『子育てDX@』^{※2}では、厚生労働省の乳幼児の定期予防接種予診票のデジタル化に向けた地域実証^{※3}を行い社会実装するなど、さまざまな子育て関連事業のDXを推進することで、保護者の“不安や負担”を軽減し、“安心で簡便”な子育て社会を地域と共創することを目指します。





サービス名	子育て応援アプリおののび
月額料金(税込)	無料
アクセス方法	・アプリ: App Store、Google Play で『母子モ』を検索 (対応 OS: Android 8.0 以上、iOS 15.0 以上) ・Webブラウザ: https://www.mchh.jp にアクセス ※対象自治体にお住まいの方以外でもご利用いただけますが、 お住まいの自治体の情報などは公式HPの情報をご確認ください。 ※ご利用いただける機能は、お住まいの市区町村により一部内容が 異なります。

※1: 子育て家庭庁ホームページ「子育て政策 DX 推進チーム(第1回)、配布資料 2: 子育て・児童福祉分野におけるデジタル行財政改革の方向性」

※2: 『子育て DX』サービスの詳細はこちらから <https://www.mchh.jp/boshimo-kosodatedx>

※3: 詳細はこちらから <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000099909.html>

※『子育て DX』は母子モ株式会社の登録商標です。

※Google Play、Android は、Google LLC.の商標または登録商標です。

※App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。

※iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。iOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ 広報部 母子モ広報担当
TEL: 03-5333-6755 FAX: 03-3320-0189
E-mail: mtipr@mti.co.jp URL: <https://www.mti.co.jp/>

一般のお客様からのお問い合わせ先

母子モお問い合わせ窓口
(株式会社エムティーアイ コンタクトセンター)
E-mail: boshi_info@cc.mti.co.jp